

令和2年 川崎市立野川小学校 グランドデザイン



学校基本情

○創立 1873 (明治6) 年147年目
 ○児童数 783名 (通常級763名 個別級20名) ○学級数 30 (通常級25 個別級5) ○職員数 約50名
 ○給食委託校

学校教育目

- かしこく 【自主・自立】**
意欲と好奇心をもって学習に臨む子、生きる知恵をもった子
～学びの楽しさが感じられる授業、
- やさしく 【共生・協働】**
自分、他人、集団を大切にすることを心もった子
～豊かな情操の育成～
- たくましく 【希望・創造】**
心身ともに健康な子
～基本的な生活習慣の育成 (家庭との連携)

教育の動向

今日的課題 ・いじめ不登校対策
 新学習指導要領
 ・知識・技能 思考判断表現 学びに向かう力・人間性
 ・主体的・対話的で深い学び
 ・カリキュラム・マネジメント
 障害者差別解消法
 ・インクルーシブ教育

本市の教育施策

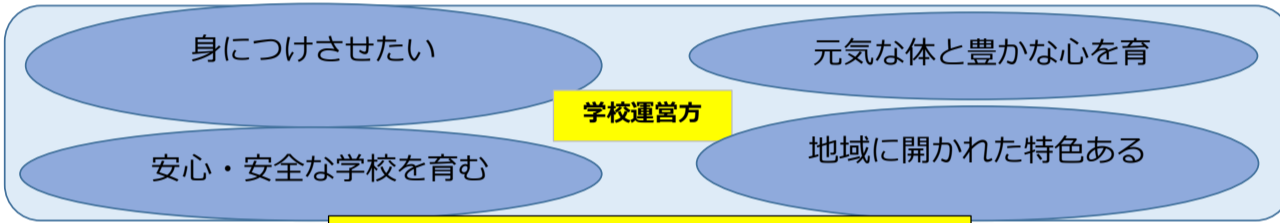
第2次川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン
 ・基本理念 夢や希望を抱いて 生きがいのある人生を送るための礎を築く
 ・基本目標 「自主・自立」 「共生・協働」
 基本政策 I 人間としての在り方生き方の軸をつくる
 ・キャリア在り方生き方教育の推進

児童生徒の実態・学習状況・学校評価

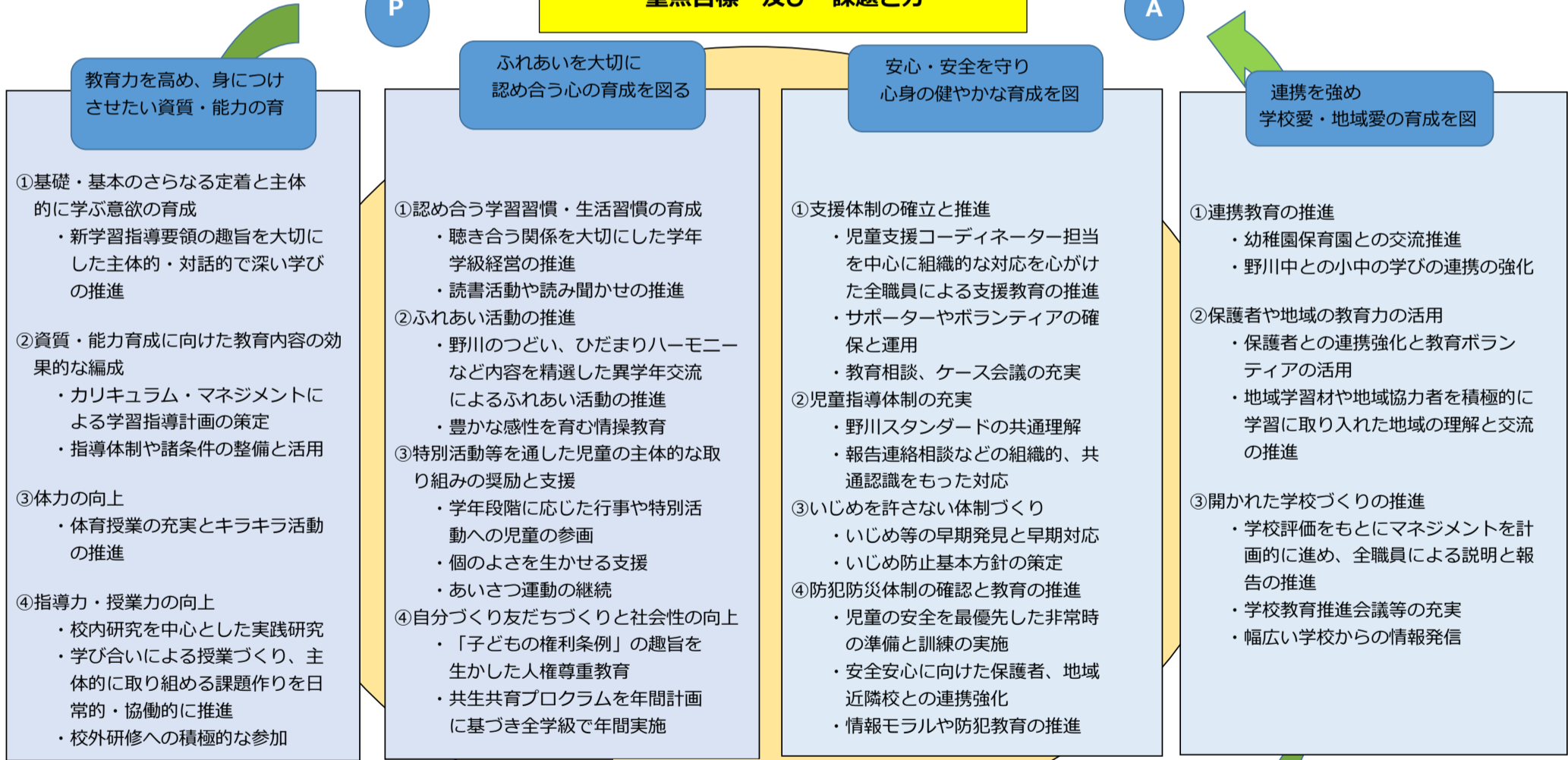
・地域に守られ子どもらしくのびのびとしている
 ・基礎的な知識や技能の習得に課題がみられる
 ・学習に取り組む姿勢に個人差が大きい。
 ・学校の楽しさ、友だちのコミュニケーションは良好といえる
 ・家庭と連携し、家庭学習の習慣化を考える必要がある
 ・個別に問題を抱えている家庭が増えてきている

保護者・地域の願い

・尻手黒川線、矢上川に隣接し、明治初期の寺子屋が前身の伝統校で、地域で子どもを温かく見守り、健やかな成長を願っている
 ・古くからの住民と新しい住民が融合して落ち着いた地域となってきた
 ・学校教育への理解と協力があがり、ボランティアやPTA活動もさかんである



重点目標 及び 課題と方



キャリア在り方生き方教育の推進

全体計画・年間指導計画・推進体

学校評価

(教職員・児童生徒・保護者・学校関係者・外部協力者)

指導体制 (4部会) 校内研究 児童支援 学校評価・教育課程 児童会	コミュニティ 学校教育推進会議	地域 子ども見守り隊 地域教育会議 安全安心協議会 子ども110番	ボランティア 図書ボランティア 飼育ボランティア トイレボランティア 読み聞かせ	学校施設有効活用 施設開放委員会	外部連携組織 教育委員会 宮前区役所 宮前警察署 児童相談所
--	--------------------	---	--	---------------------	--

目標達成・教育活動を支える基盤